

児童養護施設に対する海上自衛隊見学支援

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、2月21日（日）、平塚地域事務所が担当する二つの児童養護施設の子ども達15名に対して「海上自衛隊第2潜水隊群」の見学を支援した。

当初、潜水艦救難母艦「ちよだ」で艦の任務や活動内容など概要説明を受けた後、艦内見学のほか、艦内の食堂で昼食を摂った。昼食の献立は特製海軍力レーで、その美味しさにおかわりを申し出る子どもたちもいて大変好評であった。午後からは、在日米軍横須賀基地内に移動し、基地の歴史などユーモアのある概要説明を受けた後、潜水艦を見学した。子供たちは、狭い艦内での活動や生活にびっくりしていたが、任務の重要性など丁寧な説明を受け、自衛隊の活動に興味津々であった。

平塚地域事務所は、「今後も、未来ある多くの若者に自衛官の活動や任務について理解してもらえよう、積極的に広報活動に力を注いでいきたい」としている。



艦内見学



概要説明



掃海母艦を見送る

東海大学湘南キャンパス「自衛隊説明会」

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、2月22日（月）から24日（水）の3日間、東海大学湘南キャンパスにおいて、「予備自衛官補の募集及び自衛隊説明会」を行った。

説明会では予備自衛官の任務及び採用について、自衛隊の任務・編成から個人の適性に合った多種多様な職種があること等、学生からの希望を聞いて行った。参加した学生からは多くの質問があるとともに「大災害など、いざという時少しでも人の役に立ちたい」「将来しっかりと進路目標を持つうえで話が聞けて非常に良かった」などの前向きな感想が多く聞かれ、広報官の説明にも力が入った。

平塚地域事務所は、「今後も、自衛隊を正しく理解してもらえよう、紹介できる場を設けていきたい」としている。



説明会風景



神奈川県自衛隊退職予定隊員就職連絡会議 「労働局との協力関係を強化」

神奈川地方協力本部は平成28年3月2日、本部において「平成27年度神奈川県自衛隊退職予定隊員就職連絡会議」を実施した。

これは、神奈川県労働局及び神奈川県内の公共職業安定所と、防衛省自衛隊関係者との間で意見交換を行うことにより相互の協力関係の強化を図ることを目的として、神奈川県主催で毎年開催しているものである。

当日部外からは、神奈川県労働局2名、県内各公共職業安定所8名、自衛隊援護協会東京支部2名、自衛隊側からは海上自衛隊援護機関、県内駐屯部隊及び地本から9名の参加を得て、県内の職業紹介状況や自衛隊退職者の就職の援助状況等について発表等を行った。これにより、現状認識の統一を図ることができ、退職自衛官の就職の援助のための有意義な情報を得ることができた。

神奈川県本は「神奈川県労働局・公共職業安定所及び自衛隊との連携の強化のため、今後も定期的にこのような情報交換の場を設けたい」としている。

神奈川県自衛隊退職
予定隊員就職連絡会議の様子